

【江別】市内の市民団体約五十でつくる「えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会」は二十七日、市民と市民団体の交流などの場「市民活動センター」創設に向けての提言書を市に提出した。同懇談会は来年中のセンター創設を目指しており、候補地の旧野幌消防署(野幌町三〇)の無償貸し付けなどを要望した。

えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会 センター創設、市に提言 来年中のオープンを目指す

▶ニュース・話題は
江別支局
☎382・2111 F A X 383・5230
ebetsu@hokkaido-np.co.jp
札幌圏部
☎210・5555 F A X 210・5556
sapporo@hokkaido-np.co.jp
新さっぽろ取材センター
☎801・8545 F A X 896・1105
shinsap@hokkaido-np.co.jp
▶広告の問い合わせは
広告局 ☎210・5710

提言書は、懇談会世話人 星優子さん(日本リサイ人の白鳥健志さん(まちづくりグループACE)、つがが小川公人市長に手渡した。

自分の住むまちを知る出発点に

江別市観光ボランティアガイド 荘司和子、千葉きみ子
自分の住むまちの歴史を知る「みる」、特色・特徴を知る「知る」、色・まちの色は?、臭いは、味は?。私たちは、多くの人に自分の住むまちを知ってもらいたいと思っています。えべつ大好きメンバーが一緒に歩いてみませんか。さがしてみませんか。「センター」は「つづいた」この出発点にもしたいのです。

同懇談会は昨年、市民、市民団体、行政の交流の場をつくるために設置。札幌市市民活動センターなどの先進事例の調査、候補地の絞り込み、運営方法について議論してきた。提言では、市民、市民団体、行政、企業が情報や意見を交換できる場を常設することが、地域文化やまちづくりを促すことと指摘。民設民営方式での施設運営の厳しさを挙げて、施設、費用面での市の協力を求めている。

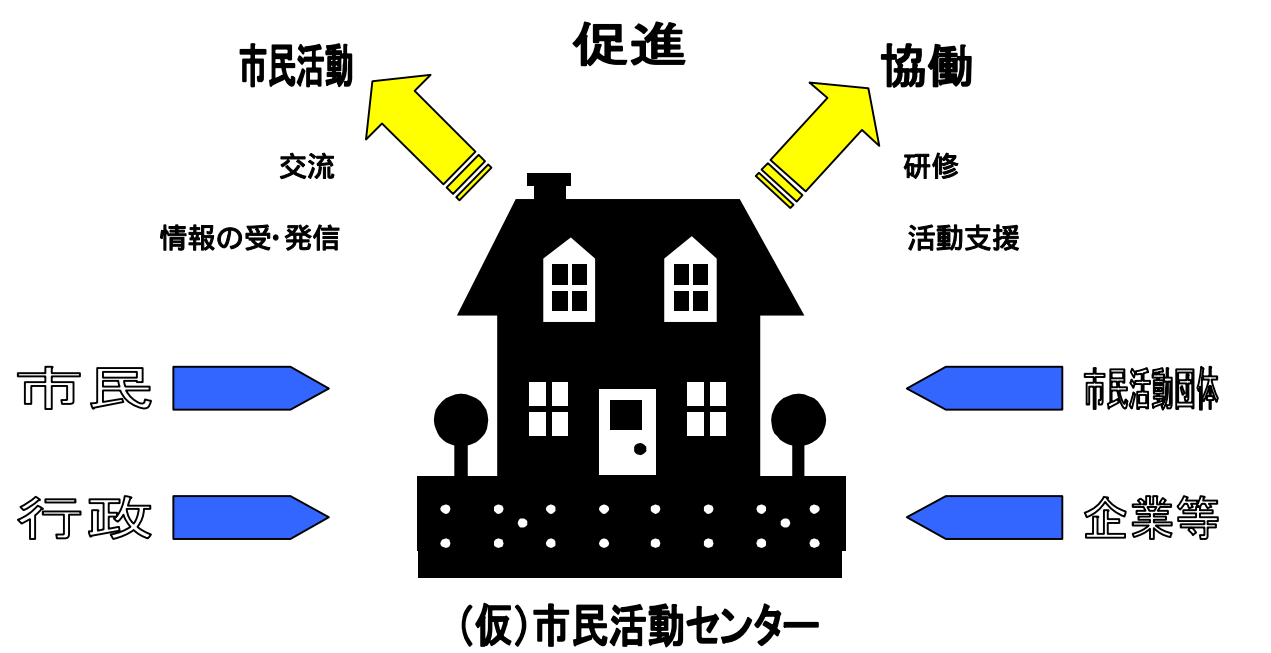
市民活動センターができれば、市民活動の拠点となる「センター」は単なる建物ではなく、様々な市民活動を繰り広げる者たちにとって憩いの場所であり新しい発想を得る場所でありたい。そこに集う人達が仲間として支え合える「楽しい場所」となるように作っていかねばならないと思う。今も活動する場所はあるが例えば公民館、市民会館、住区会館などそこでの活動は団体だけの活動のように見える。「センター」は点を繋いで線にして面にして、より広い活動を目指していけるといいなと思う。

市民活動センターができれば

古川淳子

創ろう 私たちの 市民活動センター

このリーフレットは、「えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会」が、本年9月、江別市に提出した提言書「私たちの市民活動センター」の一部をまとめたものです。



「市民活動センター」とは?

「市民活動センター」は、市民活動と協働を進めることを目的として、次のことを行うために創設する「場」です。
市民が気軽に利用でき、市民・市民活動団体・企業・行政の連携・協働を促し、江別の地域文化やまちづくりの育みにつなげたいと思っています。
市民活動の普及・啓発を行う場。
市民活動を行いたい市民、市民活動の情報を受けた市民を応援する場。
市民活動を通して豊かな地域社会の形成に寄与するために必要とする学習会や研修を行う場。
市民・市民活動団体・企業・行政とのネットワークづくりを行い、協働を促進する場。
行政や関係機関に対して、市民活動や協働に関する各種の提言を行う場。